課	題	番	号	7 – 3	分	野	名	木材加工	予算区分	国庫・県単
研	研 究 課 題 名 とちぎ材強度特性試験その3:樹種別耐久性実証試験									
担	当	者	名	亀山 雄搾・	篠崎	武彦・	安藤	康裕・大塚 紘平	研究期間	平成 18~25 年度

## 1 緒言

木材における樹種別に起因する「材の経年劣化状況および相対的な違いの明確化」を要望する業界の声に対応し、同一条件下での樹種別耐久性能を確認し建築材としての有効性能を把握するため、県産材をはじめとする14樹種(19種類)について屋外暴露試験(7年)を実施し、被害度を調査・検証した

## 2 材料と方法

種 類:14樹種·19種類

試験体数:各30体

寸 法:100×100×250 mm

1 スギ 赤身 (G・KD) 7 ナラ 白太 (G・KD) 8 クリ 黒芯 (G) 9 サクラ (G • KD) 10 ベイマツ 2 ヒノキ 3 アカマツ 11 ベイツガ 4 カラマツ 12 ベイスギ 5 モミ 13 WW集成 6 サワラ 14 RW集成



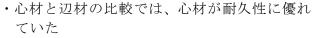
目視による耐久度の評価(指数化) 評価基準(4段階)

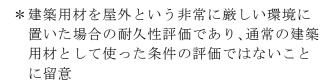
耐久指数	形 状		腐	朽	
3	形状維持		軽	度	
2	欠損半分未満	or	半分:	未満	
1	欠損半分以上	or	半分	以上	
0	形状維持不可				

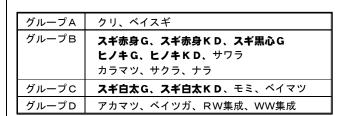
林業センター内試験地 屋外暴露試験 (H18~) 目視による耐久度の評価 (4段階に指数化)

## 2 結果概要

・14樹種、19種類の試験体区分を4つのグループに分類できた













		W. b. 15 W 15 - W 15 - W.					
	区分	耐久指数	耐久指数 出現頻度				
		合計	3	2	1	0	
グループA	クリ	90	30	0	0	0	
	ベイスギ	81	25	3	0	2	
(2)	スギ 赤身G	81	21	9	0	0	
	サワラ	77	17	13	0	0	
	スギ 黒芯G	77	17	13	0	0	
	ヒノキ KD	75	17	11	2	0	
グループ B	ヒノキ G	72	12	18	0	0	
(9)	カラマツ	68	12	14	4	0	
(9)	サクラ	67	10	18	1	1	
	ナラ	60	8	14	8	0	
	スギ 赤身KD	59	9	12	8	1	
	ベイマツ	46	0	16	14	0	
グループC	スギ 白太G	46	0	17	12	1	
	ŧξ	40	1	13	11	5	
(4)	スギ 白太KD	34	2	5	18	5	
	アカマツ	24	0	6	12	12	
グループ D	RW集成	19	0	5	9	16	
	ベイツガ	19	0	4	11	15	
(4)	WW集成	16	0	0	16	14	